

# 読書運 ~第41号~ 動通信

はじめに

特 集：学園青春小説  
 紹 介：私の好きな児童文学 第2回  
 お知らせ：イベント、募集、他  
 発 行：フェリス女学院大学  
 附属図書館読書運動  
 プロジェクト  
 発行日：2007年5月31日

特集 学園青春小説

『少年アリス』

長野 まゆみ 著

河出書房新社

請求記号 811.74 / 資料番号 190412820

「学園青春小説」とは厄介なテーマを選んでしまった。「学園青春小説」というジャンルで括れる作品が意外とないからだ。そして今から紹介する「少年アリス」も、確かに舞台は学校だが、「学園青春小説」というよりも、ファンタジーの要素が強いように感じられるかもしれない。兄に借りた色鉛筆を教室に忘れた蜜蜂は、友人のアリスと、犬の耳丸と一緒に夜の学校に忍び込む。無事に色鉛筆を発見した彼らは、すぐには帰らずに、探検することにした。そして、誰もいないはずの理科室で不思議な授業が行われているのを覗き見てしまう。アリスは、そこにいた教師に捕らえられ、蜜蜂は、耳丸と一緒に必死に彼の行方を追うことになる。

こう書くと、学園青春小説というよりは、学園ファンタジーと感ずる方が多いと思う。登場人物の名前をとっても「アリス」、「蜜蜂」など、人間の男の子とは思えないような名前だったり、夜になると、学校が不思議空間に変化していたり、さらには、旧仮名遣いを多用して幻想的な雰囲気を出したりと、ファンタジーの手法が多用されているのも事実だ。

が、このような不思議な世界の中に、時々とてもリアルな感情の描写がある。特に私が注目したのは、アリスと蜜蜂の優しい友情だ。アリスは、何を言っても文字通りに受け止めてしまう蜜蜂を、面白がってからかうが、心の中では蜜蜂の潔くて行動力のある部分を認めている。蜜蜂も、からかわれても、決してアリスのことを嫌っていない。それどころか彼は、夜の学校に一人で色鉛筆を取りに行く勇気がなくて、アリスに

初夏に入り、上着のいらぬ季節がやってきました。とは言っても、暑い日が来たかと思えば次の日は寒かったりするなど、不規則な天候続きで、「冬の方が過ごしやすかった」という人もいるかもしれません。また、現在若い人たちの間ではしなが流行しています。健康管理に注意して、まだまだ始まったばかりの新学期を楽しみたいものです。

さて、今回の読書運動通信のテーマは「学園青春小説」です。学校という舞台で繰り広げられる「青春」とは、どんなものなのでしょう？誰かに恋をしたり、何かに熱い情熱を注いだり……。でもそのせいで誰かと衝突してしまうこともあるかもしれません。楽しいこともあれば、苦しいことだってある。そんな甘酸っぱい青春の物語を味わってみませんか。

(英文学科二年 宮川いつみ)

つきあってもらったはずなのに、アリスと離れ離れになった後は、一人で（正確には耳丸もいるが）懸命にアリスを探し、見事に助け出すのだ。二人は友情を超えた、深い信頼関係で結ばれているのだなと思った。しかし、彼らはただ仲がいいだけではない。お互いにコンプレックスも感じている。

蜜蜂の兄はいつも蜜蜂の傍にいないわけではない。（中略）しかし本当に危険な場合には間違いなく傍にいないだろう。彼の兄はそういう存在だ。アリスは自分が危ない目に遭っている時助けしてくれる人間が誰かを考えてみた。社会的な意味では父や母になるのだから、アリスの云う危険とは、アリスや蜜蜂の棲んでいる世界の事なのだ。（本文より）

一人っ子のアリスは、兄弟のいる蜜蜂のことを羨ましく思っていた。蜜蜂はもし危険な目に遭ったとしても、兄が助けてくれる。しかし、アリスの場合はどうか。アリスに兄弟はいない。何かあった時に、自分を助けてくれる年の近い人間なんて、すぐ近くにはいないのだ。

一方蜜蜂は、兄に対するのと同質の甘えを、無意識のうちに誰に対しても向けているのではないかとということに気づく。蜜蜂の兄は、いざという時には弟の盾となるのだという保護者意識に自己満足を得ていたが、アリスもそうであるとは限らない。二人はお互いを尊敬すると同時に、自分がないものを持つ相手を羨ましく思ったり、自分の欠点が相手にどう思われているかを気にしてしまったりしている。

私はこの本を読んで親しい友達に複雑な感情を抱くことも、青春の醍醐味なのではないかと思った。

しっとり・ふんわりとした幻想的な世界の中で、少年たちの心の動きがみずみずしく表現されている。「ファンタジーや学園小説なんて子供向け」と思っている人達にも、是非読んでいただきたい。

（英文学科二年 宮川いつみ）

『14歳の本棚 部活学園編』 北上次郎編 新潮文庫

所蔵なし 発注中

二〇〇〇年まで『本の雑誌』の発行人だった北上次郎が選んだ、中学生を主人公とした小説のアンソロジーで、森鷗外、井上靖から氷室冴子まで幅広い作家が執筆しています。それぞれの物語の中で描かれるのは、いじめであったり、異性への気持ちであったり、大人へと変わっていく様子であったりとさまざまですが、どの作品にも少年少女のひたむきな姿があふれています。

私がこの本の中で好きだったのは、氷室冴子の『クララ白書』と川西蘭の『決戦は金曜日』です。

『クララ白書』は、中高一貫女子校の寄宿寮クララ舎に、中学三年で入寮した主人公しのぶの奮戦記です。まず、入寮条件として寮生たちから課された問題は、食料庫に忍び込んで四十五人分のドーナツを作ることでした。この本に収録されているのは序章と第一章の抜粋だけなので、今後の展開がどうなるか気になるところですが、登場人物の気持ちがいねいに描写されているので、しのぶに親近感がわき、読んでいる私まで楽しくなります。

『決戦は金曜日』の主人公健太は、かわいい女の子にときどきしたり、先生のことが鼻についたり、どこにでもいる普通の中学生です。そんな彼の誇りは、子どもころから通っている柔道教室で負け知らずだということでした。が、あるとき道場主の娘で、美少女の友里に、ものの見事に背負い投げで一本取られてしまったのです。愕然とする健太と友

里との再戦は、次の金曜日と決まりました。勝負のゆくえは一体どうなるのでしょうか。

この物語は、スポーツに打ち込む六人の少年少女を描いた短編集『ひかる汗』の一遍です。登場人物は皆みずみずしく、読んでいると、なんだかこちらまで甘酸っぱい気持ちになってきます。

今回、アンソロジーを取り上げたのは、今まで学園青春小説を読んだことのない人にも取っ付きやすいのではないかと思ったからです。私自身、あまり学園青春小説を読んだことがなかったので、まず手始めにこの本を読んでみたのですが、色々な物語があつて、とても面白かったです。きっかけ本として、お勧めの一冊です。 (日本文学科二年 平石涼子)

## 紹介 私の好きな児童文学 第二回

### 『オリエント急行とパンドラの匣』

名探偵夢水清志郎&怪盗クイーンの華麗なる大冒険

はやみね かおる 著 講談社 青い鳥文庫

フェリス図書館 所蔵なし 横浜市立図書館 所蔵あり

古都イスタンブールから花の都パリへ、ヨーロッパを横断するオリエント急行を舞台に、古より伝わるパンドラの匣をめぐる事件が起こります。その列車に乗り合わせた名探偵夢水清志郎は捜査を開始します。この列車のどこかに乗っているはずの怪盗クイーンが盗んだのでしょうか、それとも……。一体、事件はどのような結末を迎えるのでしょうか。

はやみねかおるの代表作として知られる『名探偵夢水清志郎事件ノート』シリーズの主人公、夢水清志郎と『怪盗クイーン』シリーズの主人

公、怪盗クイーンが『怪盗クイーンからの予告状』以来、再び顔を合わせた、両シリーズのファンにとっては待望の一作です。

常識も生活力もなく、自分の誕生日さえ覚えてもらえないのに、自分を名探偵と言い切る、しかし真正正銘の名探偵夢水清志郎は、数多くの難事件を解決します。対する怪盗クイーンは、ワインとネコをこよなく愛し、パートナーのジョーカーと、飛行船を管理する世界最高の人工知能RDと共に巨大飛行船に乗って世界中に出没する謎の人物です。その他、はやみね作品の名わき役たちも多数登場し、ファンにとっては、嬉しい作品です。

はやみねかおる作品に対する予備知識がなくとも、登場人物が面白いので、気軽に読めると思います。今では大ファンの私も、はやみね作品を読み始めたのは、高校のころでした。みなさんも童心に帰って、楽しんでください。 (日本文学科二年 平石涼子)

### おしらせ

#### 二〇〇七年度読書推進ポスター標語コンクール作品募集

##### イラスト作成要項

読書推進をイメージした未発表のイラスト。ジャンル不問。ロサイズ用紙を縦に使用し、イラストの周囲に必要な以上の余白をつけたり、画面に文字を入れないこと。ただしイラストの一部として文字を使用する場合は可。用紙、画材自由。イラストボード可。立体、半立体、写真不可。

##### 標語作成要項

文字数自由。字体自由。(ワープロ、手書き、自作デザイン文字等)ただし著作権のあるものは不可。

##### ポスター作成要項

A3用紙に作成したイラストのカラーコピー（縮小可）を貼付し、余白に作成した標語を記入、または貼付、または印字する。

応募方法と提出先

B4サイズのイラスト原画一部およびA3サイズのポスター一部を緑園または山手図書館カウンターに提出。両方の裏面に応募用紙を必ず貼付すること。（応募用紙は緑園・山手両図書館カウンターで配布）

応募資格と々切

本学学生・院生・科目等履修生。六月二〇日（火）一七時必着

審査と発表

応募作は全て図書館に展示します。応募作品は読書運動プロジェクトWebサイトおよび読書運動通信に掲載されます。応募者全員に一千円分の図書カードを進呈します。応募作は全て（社）読書推進運動協議会主催「二〇〇七・第六一回 読書週間ポスターイラスト募集！」に出品します。受賞者には（社）読書推進運動協議会規定の賞状と賞品が授与され、読書週間（一〇月二七日～十一月九日）に全国の図書館や書店に掲出されます。

\* 参考 / (社) 読書推進運動協議会 <http://www.dokusyo.or.jp/>

### 本を読んで考えたこと〜随想コンクール作品集

以下の参考図書の中から好きな一冊を選び、読んで考えたことを、あなたの言葉で綴ってください。上位入賞作品は読書運動Webサイトおよび読書運動通信に掲載されます。

参考図書

『下流志向』内田樹 著

『「ニート」って言うな!』本田由紀 著

『多元化する「能力」と日本社会』本田由紀 著

\* 本は図書館カウンターで借りられます。貸出期間一週間・延長一回可  
賞品（図書カード）

第一席：一万円（二名）/ 第二席：五千円（一名）

第三席：三千円（二名）/ 応募賞：一千円（全員）

応募々切 二〇〇七年六月二二日（金）一七時 必着

提出場所 附属図書館緑園または山手図書館カウンター

発表 二〇〇七年七月一日（水）附属図書館（緑園本館・山手分室）

授賞式 二〇〇七年七月一日（水）一三時 緑園図書館館長室

応募資格 本学学生・院生・科目等履修生

問合せ先

附属図書館読書運動プロジェクト 電話 〇四五・八一二・六九九九

\* 両コンクールともポスター、応募用紙をよく見てから応募してください。

映画会

日時 二〇〇七年六月一三日（水）一六時三〇分

場所 緑園キャンパス七号館 七三〇一マルチメディア大教室

入場無料。予約不要。誰でも自由に参加できます。

### おわりに

いかがでしたか？今回紹介した本の中に、お気に入りがあったでしょう。うかが好奇心や遊び心が旺盛で、野心にあふれる一方で、様々なことで悩む。それが青春だと私は思います。「まだまだ青春真っ只中」という人も、「もう青春なんて……」という人も、今回の読書運動通信を読んで、青春について考え、そして自分なりの答えを見つけていただければ幸いです。

（英文学科二年 宮川いつみ）